



GoTo きいばす

カーボンニュートラル、新型コロナ、ロシアのウクライナ侵襲などにより、世界のエネルギー情勢は急速に変化しています。きいばすも地域と世界をつなぐ体験館としてエネルギー環境教育でしっかりフォローしています。今年度もご来館をよろしくお願いいたします。



令和4年4月 vol.18

3月の来館者数と太陽光発電量

293人 (累計 94,883人)

北ソーラー：固定 4,671kWh

南ソーラー：追尾 4,780kWh



出力100kW (1基50kW)

一般家庭で使用する電力量300kWh/月として、約31軒分の電力量を発電しました。



来年も安心して冬を迎えられます。清掃の様子を↑Youtube「きいばすチャンネル」で紹介しています。

薪・ペレット兼用ストーブと煙突の清掃を行いました。ストーブ本体の灰をすべて取り除き、専用のブラシで煙突内の煤(すす)もきれいにしました。



薪割り機で広葉樹の丸太を割る職員

次の冬に向けて薪割りに励みました。量産した薪は十分に乾燥させて、ストーブの燃料として使用します。

ベルトンくん



3月のトピック



繰り返し使える充電式の電池でモーターを回し、風車を動かします。

体験では、珍しい電池や、電池の電気エネルギーを光、音、運動エネルギーに変えて楽しみながら学びます。

小学2年生の「電気を力に変える」をご紹介します。私たちの身の回りには、電池を使うものがたくさんあります。時計、懐中電灯、リモコンにももちや。パソコンや自動車にも電池が使われていますね。電池は、使うものにあわせてパワーや形を変えているので、さまざまな種類、形があります。体験では、珍しい電池や、電池の電気エネルギーを光、音、運動エネルギーに変えて楽しみながら学びます。

へっぴくん



体験 プログラム



電気で走るバッテリーカー (左上) と水素ポンペを搭載した燃料電池レーシングカー (右)

燃料電池は水素利用に必要な技術のひとつ。2050年カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)に向けて、他にもいろいろ技術が開発されているよ。詳しく知りたくなったらきいばすへGO!

きいばすには燃料電池について学べる設備があるんだ。4年生以上のおみなに体験してもらえなのが燃料電池レーシングカー。仕組みを観察すると電気自動車との違いがわかるよ。他にも水素発生装置があって、水素ポンペに充填でき、燃料電池がどのように利用されるか学べるんだ。

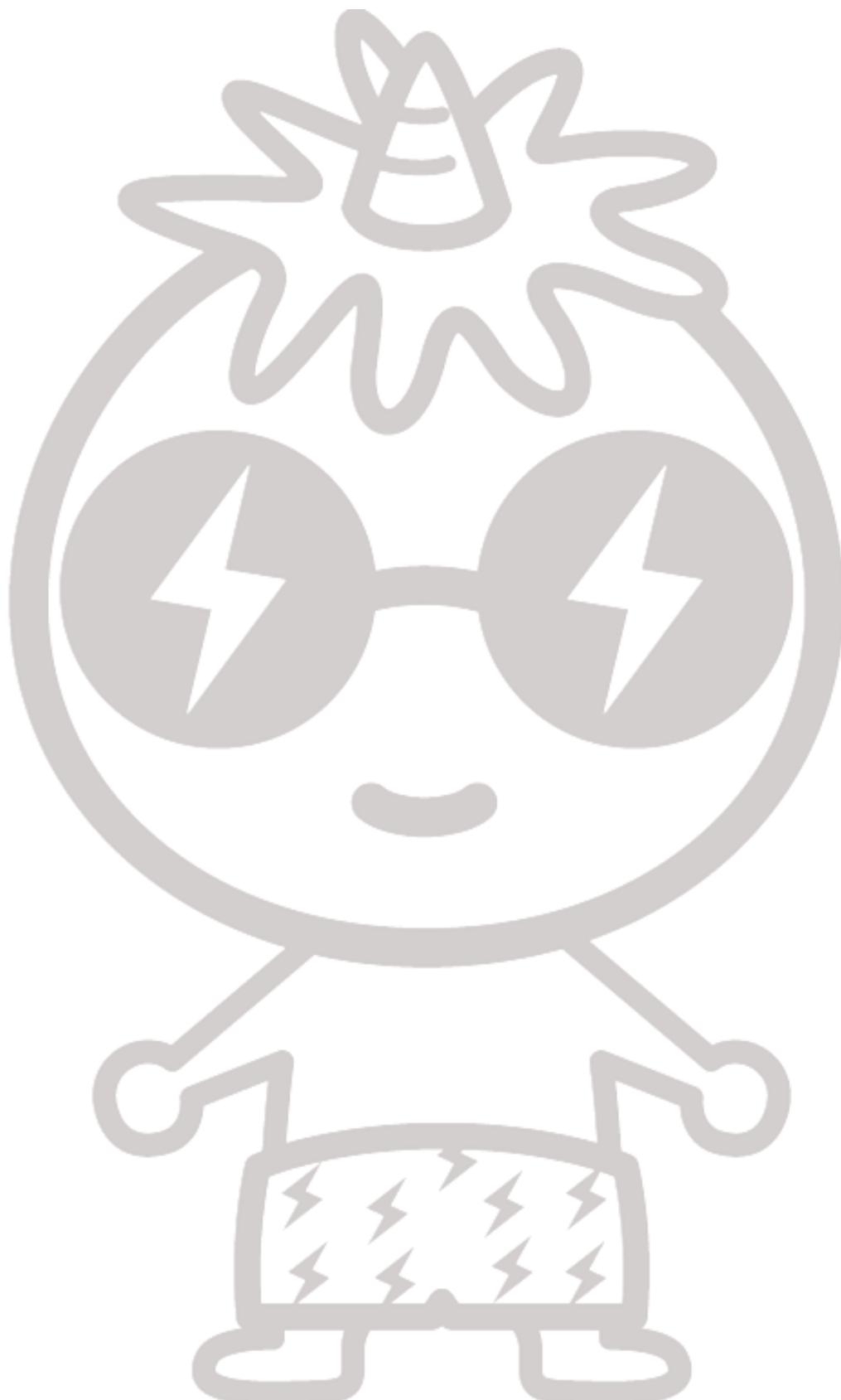
かけるくん



燃料電池を学ぼう!



きいぱすキャラクターぬりえ



みえるくん

エネルギー（特にカミナリ）が大好きな小鬼の「みえるくん」
消費電力が見えるメガネで、日々省エネにいそしんでいます。